

ヒロシマ・ナガサキから 核兵器のない世界へ

被爆地・ヒロシマは8月6日、64回目
の「原爆の日」を迎えた。秋葉忠利・
広島市長は平和宣言で、原爆投下国の「道
義的責任」として核廃絶を目指すと言
したオバマ米大統領への支持を表明し、
「力を合わせれば核兵器は廃絶できま
す。絶対にできます」と世界に英語で呼
びかけた。平和記念式典には、核保有国
のロシアを含む過去最多の59カ国の駐
日大使、総領事らが参列した。2020
年までの核兵器全廃を目指そうと改めて
訴えた。



2009年広島平和宣言

広島平和宣言(要旨)

人類絶滅兵器・原子爆弾が広島市民
の上に投下されてか64年、どんな言
葉を使っても言い尽せない被爆者の苦
しみは今でも続いています。64年前
の放射線が未(いま)だに身体を蝕(む
しば)み、64年前の記憶が昨日のこと
のように蘇(よみがえ)り続けるからで
す。

幸いなことに、被爆体験の重みは法
的に支えられています。原爆の人体
への影響が未(いま)だに解明されてい
ない事実を謙虚に受け止めた勇氣ある
司法判断がその好例です。日本政府
は、「黒い雨降地域」や海外の被爆者
も含め高齢化した被爆者の実態に即し
た援護策を充実すると共に、今こそ省
庁の壁を取り払い、「こんな思いを他
(ほか)の誰(だれ)にもさせてはなら
ぬ」という被爆者たちの悲願を実現す
るため、2020年までの核兵器廃絶
運動の旗手として世界をリードすべ
きです。被爆64周年の平和記念式典に
当り、私たちは原爆犠牲者の御霊(みたま)
に心から哀悼の誠を捧げ、長崎市と
共に、また世界の多数派の市民として
国々と共に、核兵器のない世界実現の
ため渾身(こんしん)の力を振り絞るこ
とをここに誓います。

映画の力で、平和憲法を生かそう！

「いのちの山河」

日本の青空II

《主催》映画「日本の青空II」を
上映する会

富士市での上映予定

★とき 11月27日(金)

★ところ ラホール富士

参加券 大人1300円

※午前・午後・夜間3回上映します

NHKアーカイブス・プライム10

生命をかけた対論

～沢内病院の苦悩

9月19日(土) 14:00～16:00

於 鷹岡まちづくりセンター

主催 ゆきとどいた教育をすすめる会

9月29日(火) 18:30～20:30

於 富士駅南まちづくりセンター

連絡先 NPO 法人富士市民劇場内(伊藤、安保)

Tel 0540(63)9201 Fax 0545(62)1687

深澤晟雄氏の生涯を読んで

日本の青空Ⅱに取り上げられる映画は、この

「いのちの山河」です。これは新憲法25条「すべての国民は健康にして文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と高らかにうたいあげられた条文に基づいたものです。一九四七年五月に実施されたものです。当時は文部省から副読本として発行され中学生に配布されました。正直にいうと一生懸命に考えてみました。日本はまだ敗戦の場から立ち直れなかつた筈です。みんな貧しくてその中で今日を生きるために一生懸命だったと思います。

生活もだんだん良くなり、学校で習いたてのエンゲル係数に少年少女たちは夢中になりました。私もこのエンゲル係数70%に気恥ずかしい思いをしました。みんな食べることに精一杯だったようです。「衣食足りて礼節を知る」入学する時四年制の女学校が学制改革で三年の中学卒と同じになるといふことで、ブツクサイいながら、高等学校への編入を前に何人かの生徒は学校を止めに行きました。それ以上の学問は女の子には不用

といわれて、進学組と就職組はいくらかの溝を残していききました。家ではみんな働くのが当たり前となり、みんな一生懸命働きました。その結果、日本の文化、経済は豊かになりました。

とはいえ『深澤晟雄』が村長になられた頃の東北はまだまだ貧しかったと思います。格差社会なんてついこの頃になっていけれどしたものです。病気でまだ気軽に医者にかかることは出来ませんでした。その中で住民の幸せを願った老齢医療百%給付、乳幼児死亡率零%と目標にした深澤氏の方針は村人等も耳を疑った筈です。しかし、目標を高くかかげた村長は憲法25条の信念を通して山間の豪雪、多病、貧困を一步ずつ切り拓いて沢内村を人も羨む豊かな村につくりかえました。日本の福祉を先がけ実行していききました。一部の反対者、異を唱える人達も見事に説得し協力者にしてしまいました。十年の歳月を理想に近づけたその人柄に敬服します。残念にも59歳一ヶ月で癌におかされ死去したのですが、その想いはミキ夫人、次代の村長に受けつがれました。日本の中で、このような情熱を持った人はいるでしょうか。だんだん格差社会になって行くのもただ時代の流れ位にしか受けとられていないようです。若者が理解と信念を持って進めるように

成年者が自分の痛みを覚悟の上で手を打とうという事は少ないのではないのでしょうか？ 本気で学ぼうとする人を助けることも少ないと感じます。確かに一人の力は微々たるものですが、結集して進めば多少とも変えられる筈です。ただ高校中退者が増えたから高校にかかる費用を無償にするとか、そんなことを言ってみても自覚する人が少なければどうにもなりません。何故、自分が学びたいのか、学ぶ結果がどのように開けて行くのか、その意識が必要です。何をやるにも経済の裏付けがなければ、なにも出来ないという現実を子供時代から身につけることの大事さを感じました。

さかえ書房

伊藤三千代

本の紹介



及川和男著

村長ありき

一沢内村 深澤晟雄の生涯

れんが書房新社 1680円

「沖縄慰霊の日と自衛隊」

6月23日の沖縄慰霊の日、地元の平和団体と共に糸満市摩文仁丘の「黎明之塔」の前で、制服の自衛官たちと遭遇しました。「黎明之塔」は沖縄守備軍第32軍司令官牛島満中将らをまつた塔で、64年前、沖縄の住民を戦禍に巻き込む結果をもたらした同司令官の墓を、この日自衛隊隊員らが参拝にきたため、県民たちはその行動に対し、住民感情を無視したものととして抗議を示しました。

沖縄戦では、激しい地上戦により軍民合わせて20万人以上が犠牲となりました。首里城地下司令部壊滅後も、牛島司令官らは摩文仁に敗走し「軍の主戦力は消耗してしまっただが、なお残存する兵力と足腰の立つ島民とをもって、最後の一人まで闘い続ける覚悟である」として戦闘を長引かせ、必要以上に戦線を拡大し、住民被害を大きくしたのです。

牛島司令官は、「悠久の大義に生きる」即ち天皇のために最後までたたかえという意味の命令を出し、6月23日に自決しました。ここで沖縄守備軍の組織的抵抗は終了しましたが、戦闘や自決はその後も続き、多くの犠牲者をだしました。

「軍隊は住民を守るもの」と信じていた住民たちを犠牲にし、「最後の一人まで戦え」という命令を残して自分だけ自決する司令官に、美化される理由はあるのでしょうか。

慰霊の日の朝、黎明の塔にきたのは陸上自衛隊第1混成団の20人の自衛官でした。私たちは「自衛隊は皇軍美化の慰霊祭をやめよ 自衛隊による沖縄戦の史実改ざん糾弾」と書いた横断幕を掲げて静かに立っていました。

ひとりが「牛島司令官は住民対策をおろそかにした。ご存じですか？」と隊員らに抗議しました。取材の記者らが「制服での集団参拝は公務にあたらないか」と質問しても終始無言でした。

沖縄の自衛隊は年々

増えています。米海兵隊が移転しても、自衛隊が増えれば沖縄の人たちには何の変化もないのです。それどころか米軍再編により、自衛隊が米軍と一体化してさらに軍事力を強化しようとしている現実をしつかり見据えなければなりません。



沖縄慰霊の日に参加する自衛隊員(写真上)とそれに抗議する平和団体の人々(写真下)

6月23日 摩文仁之丘



山崎ひろみ

九条を守る、ということとは思っただけでは役にたちません。九条のある国に軍隊はありえないのに自衛隊が存続することを、日本人は積極的にしろ消極的にしろ認めてきてしまったのです。そして今度は九条を変える側になろうとしています。現実的対応とは何なのか？軍隊が住民を守らないのは沖縄戦でも、現代の紛争地域でも検証済みです。戦争ができる国になることは、誰のためになるといえるのでしょうか？

わずか60数年前に悲惨な戦争をしたばかりの日本が、また戦争を始めるのでしょうか？自衛隊の存在とは何なのか、改めて正面から見つめ直すことが今、日本人に問われていると思います。

知ろう! 学ぼう!

私達の暮らしと憲法

平和を築く9条、生存権を保障する25条、改憲をめざす国民投票法

講師 伊藤 真 さん

法学館館長、「市民のために働く法律家を育成する」伊藤塾のカリスマ塾長として人気を博す。憲法の伝道師として各地で講演会も精力的にこなしている。

主な著書は「憲法の力」「高校生からわかる日本国憲法の論点」「夢をかなえる勉強法」「会社コンプライアンス」

☆日 時... **9月13日(日) 13:30~15:00**

☆会 場... **富士市富士北まちづくりセンター 3階**

(富士市米之宮町288 Tel 0545-64-0099)

☆参加費... **無料**

主催 きらり交流会議 SUDACHIの会
共催 富士市男女共同企画課
問い合わせ Tel & Fax (63) 6582 平野久子

伊藤真先生のお話を最初に聴いたのは、一昨年の富士宮での憲法記念日の講演会の時でした。主催者によれば、先生とはお友達で何年も前から約束だったということでしたので、先生に来ていただくのほども大変なことなのだと思います。ですから、「先生の都合のよい日をお知らせください」と恐る恐る送ったFAXに、直ぐお返事をいただいた時はとても感動しました。

富士宮の講演会の時、先生は「憲法は国家権力を制限して国民の人權を保障するものであり、国家権力が守らなければならないものです」と歯切れのよい解りやすい言葉で熱く語られました。以前、社会党の土井たか子さんがこのことを言っていたのを聴いたときはショックでした。それまで憲法は国民が守らなければならない最高法規だとずっと思っていたからです。

伊藤先生が話されるのを聞いて、ハッとしました。忘れていたからです。「国民を守る」ってどうしてこんなに強く刷り込まれてしま

ったのでしょうか。

「国家権力が守る」って教わり方されなかったですよネ。日本国民の大多数は自分達を守るものだと思いますよネ。

99条を読むと、憲法を尊重し擁護する義務を負うのは国家権力だと書いてあります。為政者に対して、9条を守って!

25条を守って! 私たちの安全を守って! と言える人が増えるよう願っています。

SUDACHIの会代表

平野久子

世話人会のお知らせ

○とき **10月14日(水)**

(1) 14時00分~16時00分

コープしずおか中島店

(2) 18時30分~20時30分

ラ・ホール富士

○内容 **「日本の青空II」**

ニュース29号の原稿を10月31日までにお寄せ下さい。